

# 展覧会搬入マニュアル

2011.8.7 文責：高瀬屋侑生

2012.4.15 加筆：野崎由佳

## I 趣旨

最低限の搬入の流れを皆さんに知ってもらうためのマニュアルです。

搬入方法はギャラリーによります。一例として、参考にしていただけたら幸いです。

(特にギャラリー北野さんでの搬入はギャラリー主さんが絵の配置を考えてくれるので、絵をもっていっただけで以下の作業はまったく必要ありません)

## II 必要なモノ

(搬入セットとしてまとめています。どこにあるのか展覧会前に確認すること)

- ・虫ピン
- ・ガムテープ
- ・ビニール紐 (絵の高さを均等に揃えるための目印として)
- ・バール or 金槌 (ハンマー兼釘抜きとしてキャプションを貼る際に役立つ)
- ・キャプション
- ・はさみ
- ・軍手
- ・画鋸かメンディングテープ、ガムテープ (キャプションを貼るのに使います)
- ・腹式呼吸と大きな声! (ないと部員が不安になります)

これに展覧会幹事が作ったキャプション、出品作品リストが必要となるので必ず持つてくること。

それと、開催期間中にアンケートとアンケート記載のためのバインダー、あいさつ文、展覧会 DM、芳名録、筆ペン、画廊番心得プリントアウト、画廊番シフト表、お茶やお茶請けのお菓子、合評帳 (作品が並んでいる順にノートに出品者と題名を書いたノート) が必要となりますので搬入当日一緒に持つてくること。

ちなみに今年から芳名録とアンケートは幹事団の方で準備するので、幹事は準備する必要はない。展覧会前に総務等から受け取ること。

### Ⅲ搬入前の注意

幹事はもちろんのこと、出品者も展覧会での最低限のマナーが書いてあるのできちんと目を通すこと。また幹事は搬入一週間前ほどに搬入のお知らせとともに、以下のことをML等で周知しておくこと。

- 自分の作品の搬入は自分で責任を持って行うこと
  - 授業やその他の予定でどうしても都合がつかない場合は代理をたてる。代理が見つからない場合は、幹事に相談すること。
  - どちらにしても、必ず搬入時に画廊に作品を届けること
- 作品は濡いた状態を出すこと。ギャラリーの壁や他の人の作品を汚さないため。油絵を描いている人は注意。
- 作品は必ず額装すること
  - キャンバス（油絵、アクリルなど）：額に入れるかキャンパス周縁に水張りテープや製本テープを貼りキャンバスの釘を見えないようにし、後ろに釘などで紐を貼ってつりさげられる状態にすること。
  - キャンバス以外の平面作品：額に入れて、後ろの紐を結んでつりさげられるようにすること。
  - 額はBOXにあるものを使用しても良い
- 搬出の際、ごっちゃになる可能性があるので作品の裏には名前を書いておく

### Ⅳ搬入マニュアル

- ①下準備
- ②並べる作品の順番を決める
- ③絵の間隔を決める
- ④絵を吊るす  
(立体作品を展示する)
- ⑤照明を調節する
- ⑥キャプションを張り付ける
- ⑦その他

以下この流れに沿って説明していきます。

#### 手順①. 下準備

絵の梱包材は邪魔になるので、絵を取り出したら倉庫や裏方に置くよう指示しましょう。  
それと並行して、個人のキャプションを配り、作品リストと照合させる。  
また、出展者が全員いてもほとんどの人が手持ち無沙汰になります。ですので、作品をもつてきてもらったらこの時点で数人返すのもあり。

## 手順②. 並べる作品の順番を決める

ここでは2種類、「置き方を予め決めておくやり方」と「搬入時にその場で決めるやり方」を紹介します。

### (1) 置き方を予め決めておくやり方

キャプションを募集する際に「絵の雰囲気」と「サイズ」と「画材」を聞いておきます。キャプション情報が集まったら自分の中で並べ方を決めていきます。写メを貰ったり、実際の作品の寸法とギャラリーの大きさを照らし合わせたりしてシュミレーションするといいです。ただし、写メに関しては作品の制作が遅い人もいるので、100%頼るのは危険です。

### (2) 搬入時にその場で決めるやり方

文字通り、搬入時に作品の雰囲気を判断して並べます。

絵の並べ方にはそれぞれデメリットがあります。

(1) のデメリットは実際に仕上がった作品と自分の想像とのギャップが大きいことが多々あるので、搬入事前に考えていた配置を変えざるを得ないことがある点です。

(2) のデメリットは時間がかかり、それに伴い搬入作業中手持無沙汰になる部員が増えてしまうことです。

理想はマニュアルに沿って自分の中で何種類か配置を想定しておき、その場その場で柔軟に決めて行くことだと思います。

手順補足：並べ方について

ここでは「色彩グループで並べるやり方」、「絵にメリハリをつけるやり方」について書きます。

- ・色彩グループで並べる
- ・絵にメリハリをつける

出展される作品はそれこそ十人十色で、色（白黒⇄色彩）、大きさ（小さい絵⇄大きい絵）、画材（鉛筆水彩パステル油絵 etc）、雰囲気（明るい⇄暗い）など沢山の要素が混ざり合っています。そこで、それぞれの対立した要素を上手く使い、絵の置き方にメリハリを付けていきます。

並べ方例：B5サイズの鉛筆画→四つ切りサイズの虹色のアクリル画→暗いB4サイズの油絵…

入り口近くに飾る絵は言わば展覧会の顔なので、「これは道行く人が惹かれる！」と思う絵があったら持ってきたほうがいいです。また、部屋の最奥の壁の中央にも同様の理由で大きく目立つ作品を置くと良いでしょう。同様に入り口にパネルを設置して奥があまり見えなくなった場合、奥でもギャラリーの外から見える位置に目立つ絵を置くのも一つの手です。また、パネルは外と中、両方に絵を掛けることができるのでスペースを広げる役割も果たします。先に述べた理由と同様で、パネルの外向きの面にも目立つ作品を置くと良いでしょう。

それと、四隅（端）に置く絵もできたら鉛筆画等のモノクロ絵を避け、カラフルな絵を置きましょう。これは隅まで目が行き届いてお客さんに満遍なく見ていただく為です。

### 手順③. 絵の間隔を決める

絵を並べる順番を決めたら、今度は絵の間隔を決めます。間隔は「高さ」と「横幅」がポイントになります。

#### 1) まず、「高さ」のラインを決めます。

ビニール紐をギャラリーの面の長さに切り、地面に対して人の目線よりちょっと低い高さ、150~160cmくらいで「水平に」ピンと張りガムテープで止めます。

ギャラリーの奥行きが4m以上になる場合、ガムテープは1mごとに貼るといいかもしれません。事前に、ガムテープを壁に貼ってもいいかギャラリーさんに確認しておきましょう。

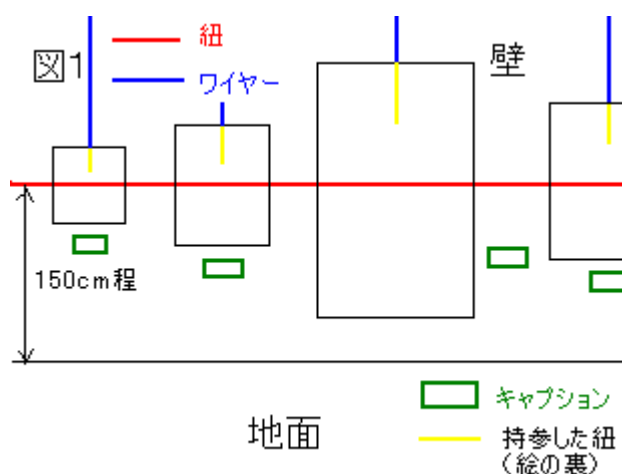
#### 2) 次に「横幅」を決めます。

横の間隔についてはサイズがまちまちなので、大体均等に並べればOKです。事前に作品サイズで並べ方を決めていたなら、その時予定していた長さを参考にするとやりやすいです。

### 手順④. 絵を吊るす

絵は、天井付近からワイヤーで吊るす方法が主流ですが、ワイヤーではなく釘で固定できるギャラリーもあります。可能なら釘で止めたほうが楽ですし、見栄えもいいです。一度、確認するといいいでしょう。（ギャラリーFさんでは釘が使えます）

- 1) 釘の場合もワイヤーの場合も、まずは絵の裏に張った紐（各自で用意した紐。図1の黄色）の中心部分にフックが来るよう吊るしていきます。その時、紐の結び目は左右どちらかに寄っていることが望ましいです。
- 2) ワイヤー（図1の青）で吊るす場合、ワイヤーの余り部分が絵の下からピロッと出るので、紐に巻きつけるなり、額縁にテープ止めるなりして絵の裏側に隠しましょう。
- 3) 額縁によっては絵が前のめりになる場合があります。その時は画鋸かメンディングテープ、ガムテープでワイヤーを壁面に押さえるか、額の背面とワイヤーをメンディングテープもしくはガムテープで固定します。
- 4) 吊るし終わったら、目安として壁に貼ってあったビニール紐（図1の赤）を外します。テープ類は壁を傷つけないように丁寧に剥がしてください。



#### 手順⑤. キャプション貼りつけ

予め作っておいたキャプション（図1の緑）を渡し、各自で虫ピンで固定します。位置は絵の下、大きい絵の場合は横が基本です。この時にバールや金槌が必要になります。皆一斉に行うので複数用意しておくといいでしょう。

また画廊によって、虫ピンが使えない所もあります。そういう画廊では、メンディングテープでキャプションを壁に貼りつける。この辺はよくギャラリーさんに確認しておくべきでしょう。

キャプションを貼るときに金槌等が不足し、手持ち無沙汰になる部員がいるので次に説明する手順⑥. 照明の調整と同時進行でもいいと思います。

#### 手順⑥. 照明の調整

ギャラリーに脚立をお借りして、照明が絵にあたるように調節します。熱いので軍手を使い  
ま し よ う 。

以上が作品搬入の流れです。

## 手順⑦. その他

- ・搬入が終わったらゴミを片付けてギャラリーの方に挨拶をして帰りましょう。
  - ・展覧会当日までに、画廊番諸注意を書いたマーリングリストを回すのも忘れずに。
  - ・搬入作業後解散してからギャラリーの前に溜まっていると迷惑です。すみやかに移動しましょう。
- ・後輩の教育も大切です。搬入作業中に手が空いている人がいたら、仕事を見つけて振ってあげましょう。その場で絵の並べ方を決める場合、「この配置どちらの方がいいと思う？」とか、絵の高さは見にくくないか確認してもらうとか具体的に指示してあげると後輩もやりやすいと思います。幹事や上回生で分業して誰かに教育係を頼み、接客の仕方やこのマニュアルに書かれている事を教えるのもいいと思います。なかなか難しいのが現実ですが。
- ・自分の展覧会までに、他の展覧会搬入時に幹事の指揮の仕方を観察するのもいいです。人の指揮を見るのは非常に勉強になります。